2017年
全国専門学校共同卒業生調査
掲載記事

「専門学校新聞」
2017年8月15日付　第9面に掲載されました

専門学校新聞

＝大阪専各協会／卒業生調査＝

8割近くが母校を高く評価

卒業校のロイヤルティも高く

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（福田益和理事長）はこのほど、今春3月の専門学校卒業者（調査時点は卒業予定者）を対象に「全国専門学校共同卒業生調査」（株式会社応用社会心理学研究所共同企画）の結果をまとめた。

この調査は、専門学校卒業生（予定）を対象に、学生の視点で専門学校における「学び」や「教育」の実態を総合的に明らかにし、今後の専門学校教育のさらなる質の向上や各校のより良い学校運営の実現に資するエビデンスを収集するとともに、調査の結果を広く社会に発信していくことを狙いとして2015年から行われている。

調査は2016年12月～2017年3月に実施され、調査対象は全国の専門学校45校4146人で、有効回答者数は3981人。調査は無記名で実施され、実施校で授業や試験時などを利用して調査票を配布、その場で回収した。調査項目は「学校ロイヤルティ」「充実・満足度」「教育内容の評価」など108項目に及んだ。主な調査内容の結果は次の通り。

【専門学校卒業生の学校評価】

卒業した専門学校に対して『総合的に評価して良い学校だ』と思っている学生は、「非常にそう思う」（16・4％）「わりとそう思う」（35・2％）「ややそう思う」（25・7％）という評価を合計すると77・4％になり、卒業生の8割近くが母校に対して肯定的な評価をしている。

【卒業した専門学校の教員評価】

『先生は教育・指導に熱意を持っていた』という設問については、「非常にそう思う」（28・3％）「ややそう思う」（44・8％）を合わせると73・0％。また『先生が親しみやすかった』についても、「非常にそう思う」（36・4％）「ややそう思う」（42・1％）と回答した卒業生が78・6％を占め、先生に対して親近感、教育に対する熱意などを強く感じていることが分かった。

【専門学校卒業生の成長感や充実感】

『本校（卒業校）に入学したことで成長した』という設問に対して、「非常にそう思う」（31・0％）「ややそう思う」（47・8％）を合計すると78・7％になり、専門学校で成長を実感する卒業生の多いことがうかがえる。また『本校（卒業校）での学生生活は充実していた』については、「非常にそう思う」（26・7％）「ややそう思う」（44・7％）を合わせると71・3％の卒業生が充実した学生生活であったと回答している。

【専門学校卒業生の卒業後の進路】

専門学校卒業後、就職する学生に『専門学校で学んだことが生かせる分野か』を聞いたところ、「非常に生かせる」（65・0％）「少し生かせる」（26・0％）と回答した学生が90・9％で、ほとんどの学生が専門学校で学んだことを生かせる分野に就職を決めている。

また『雇用形態』は「正社員」85・8％であるのに対し、「契約社員」5・7％、「アルバイト」4・4％だった。

【専門学校卒業生の母校へのロイヤルティ】

卒業校を『他の人にも勧めたい』という設問に対しては「非常にそう思う」（22・0％）「わりとそう思う」（25・9％）「ややそう思う」（24・6％）を合計すると72・5％に及び、卒業した専門学校に対するロイヤルティの高さがうかがえる。

企画：一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

企画・開発・調査分析：㈱応用社会心理学研究所